

ごみの分別 お困りではありませんか？

資源物はしっかりと分別をお願いします！

令和6年度に栗山町から出されたごみの総量は3,102tです。町民一人あたり1年間で約290kgのごみを出している計算になります。そのうち焼却処分されたのは約57%の1,776tです。燃やせないごみなどおおよそ370tを埋立て処分とし、残る974tの量を資源としてリサイクルしています。

例えば、新聞・雑誌や段ボールなどの紙類が一番多くて376tを再生紙などへ。鉄などの金属類は44tを鉄筋の材料などへ。ガラス・陶器類は39tを土木用資材などにリサイクルしています。

混ぜればゴミ、
分ければ資源！



青の指定ごみ袋で回収しているプラスチック類は118tにもなり、赤の指定ごみ袋で回収している缶・びん・ペットボトルにおいてはなんと258tにもなります。ちなみにアルミ缶のリサイクル率は極めて優秀で'97.5%を回収'といわれており、町では昨年度27tを回収しキロあたり25円で売却しています。ペットボトルもキロあたり11円で56tを売却できており、これが「混ぜればゴミ、分ければ資源」といわれる理由です。

町では、資源物の種類に応じて、それぞれ異なる専門業者に処理委託または売却しています。ごみ分別をキチンとすることで、より効率的に資源物の回収が可能となります。そのため町民皆さんにご面倒でも分別の徹底をお願いしています。

分別の基本は資源物を分けること

町には、ごみの分別に関する問い合わせのお電話が毎日のように掛かってきます。分別に対する住民意識の高さからなのかもしれません。このごみの分別の仕方は？ごみステーションに自分が出した袋が置いていかれている。分別のどこが悪いのだろう？そんな問い合わせが多いのです。

そのお答えのほとんどは、青・赤・黒の指定ごみ袋に入れるべき資源物が違う袋に入っている勘違いから。例えば、

- ・燃やせるごみ袋にプラなどの資源物が入っていませんか？
- ・プラの袋に硬質プラが入っていませんか？
(硬質プラは燃やせるごみです)
- ・プラの袋にペットボトルが入っていませんか？
- ・ペットボトルのキャップ、ラベルはプラの袋に！ などです。

もしも袋が残されていたら？

もしも、ごみステーションに自分で出したごみ袋にシールが貼られ残されていたら……。分別方法に勘違いがありますので、ごみ袋を回収し再度の分別をお願いします。分別の方法は、ごみ分別ガイドブックをご覧ください。お気軽に環境生活課までお問合せください。分別し終えたごみ袋は、シールにバツ印を忘れずに書き入れ、ごみステーションへあらためて出してください。



～生ごみの水分を減らしましょう～

千歳市にあるごみ焼却施設では、850℃以上の高温によりごみを燃やすことでダイオキシン類の発生を抑えています。水分を多く含む生ごみの割合が多くなると、高温で燃焼させるために余計な燃料を必要としてしまいます。生ごみは水分を切ることや、乾燥させること、たい肥化してそもそもごみとして出さないことがとても重要です。

町では生ごみの乾燥を促す「生ごみ処理機」や、たい肥化するための「コンポスト」の購入費補助を行っています。詳しくは広報くりやま5月号の5ページをご覧ください！

【問い合わせ】 環境生活課環境政策グループ ☎ 73-7511

まちの声 -VOICE- (くりやまキャッチボイスより)

ワクチン接種費用の助成について

□今年、女兒を出産いたしました。妊娠中には、赤ちゃんをRSウイルス感染症から守るために「アブリスボ」というRSウイルスのワクチンを任意で接種しました。このワクチンは現時点では公的医療保険の適用外となっており、接種費用は3万円前後と高額です。そのため、費用の負担を考えて接種をためらう妊婦さんも少なくありません。でも、このワクチンを妊娠中に接種することで、生まれてすぐの赤ちゃんをRSウイルスによる感染症や重症化から守ることができるとされています。実際に、いくつかの自治体では、妊婦さん向けにこのワクチン接種の助成制度が始まっています。ぜひ栗山町でも、助成制度をご検討いただけないでしょうか。より多くの妊婦さんが安心して出産・育児を迎えられる町になることを願っております。前向きなご検討をいただけますと幸いです。(30代女性)

■この度は任意予防接種費用助成について、ご要望をいただきましてありがとうございます。妊婦さん向けのRSウイルスワクチン(アブリスボ)については、国の厚生科学審議会において、予防接種法に基づく定期予防接種として導入する場合の安全性、費用効果などについて検討されているところではありますが、母子免疫により赤ちゃんを感染症から守る効果が期待されることから、任意予防接種として推奨されています。栗山町では、町民の健康管理および経済的負担の軽減を図るため、任意予防接種費用の一部助成を行っております。妊婦さん向けのRSウイルスワクチン接種は、2024年6月に始まったことから国の動向を注視し、多くの妊婦さんが安心して出産・育児を迎えられるよう、接種費用助成の検討を行ってまいります。

【問い合わせ】

住民保健課健康推進グループ ☎ 73-2256

参加者募集

町長のふれあい訪問

佐々木学町長が皆さまのところに訪問します。ふるさとくりやまの今、そしてこれから目指すまちの話など、佐々木町長と直接話をしませんか？

【目的】

町長が町内の企業や団体などに訪問し、懇談を通して相互理解を深め、町民などの声を町政に生かす。

【対象】

- ・町内企業、団体、グループ、サークルなど
 - ・町内に在住または通勤、通学している方
 - ・主な仕事や取り組みの拠点が町内にある方
- ※概ね5人以上でお申込みください。

【問い合わせ】総務課広報・防災グループ ☎ 73-7501

